

2022年10月20日

株式会社ビジネス・ブレイクスルー
アオバジャパン・インターナショナルスクール

【一般観覧者募集】各国の外国人が日本語でスピーチ！ 第25回 各国大使館員日本語スピーチコンテスト2022

【日時】2022年11月3日(木・祝)13:00-17:00 於:赤坂区民ホール

特定非営利活動法人大使館員親善交流協会(所在地:東京都練馬区、理事長:柴田巖)が主催し、株式会社ビジネス・ブレイクスルー(東京都千代田区、代表取締役:柴田巖、以下BBT)グループのアオバジャパン・インターナショナルスクール(東京都練馬区、理事長:柴田巖、以下アオバ)が支援する「第25回 各国大使館員日本語スピーチコンテスト2022」が、11月3日(木・祝)13時より赤坂区民ホールにて開催することが決定し、一般観覧者の募集を開始したことをお知らせします。

本コンテストは、公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団より特別共催を、また、外務省、文化庁、独立行政法人国際交流基金、東京都、港区、NHK、一般財団法人港区国際交流協会よりご後援をいただいております。



第25回
各国大使館員
日本語スピーチコンテスト2022
The 25th Japanese Speech Contest for Foreign Diplomats 2022

各国大使館員による
様々なテーマのスピーチを聞くチャンス!
ぜひご来場ください!

主催: 各国大使館員日本語スピーチコンテスト実行委員会
共催: 特定非営利活動法人大使館員親善交流協会、アオバジャパン・インターナショナルスクール
特別共催: 公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団 (Kissポート財団)
後援: 外務省、文化庁、東京都、港区政府、財団法人港区国際交流協会、NHK、独立行政法人国際交流基金、各国大使館
協力: 早稲田大学国際学生友誼会、公益財団法人和山パレエ団、ビジネス・ブレイクスルー大学

特定非営利活動法人
I-FFEA
大使館親善交流協会
Foreign Embassies Friendship Association

(昨年度参加国:アメリカ、アルメニア共和国、アンゴラ共和国、カナダ、エジプト・アラブ共和国、シリア・アラブ共和国、オーストラリア、オランダ王国、シンガポール共和国、バングラデシュ人民共和国、ボリビア多民族国など)

●2022年11月3日(木・祝) ●13:00~17:00(予定) 12:30~受付開始
【会場】赤坂区民センター・区民ホール(定員400席)

当日は、約15名の大使館員が日本語で、日本と自国との文化・言語・宗教の違いや共通点を踏まえた体験談のスピーチを行います。

本スピーチコンテストは、日本語によるスピーチを通じて各国大使館における日本文化の理解向上と草の根レベルで国際相互交流を目的に1998年より始まり、以来毎年開催されております。これまで約400名以上の外交官および大使館スタッフの方が日本と自国との違いや共通点を踏まえた体験談をスピーチで披露し、国際相互理解の大切さを訴えてきました。また、政府から「日本文化の発信と国際文化交流に優れた成果をあげた」などとして過去に数回表彰された実績があります。

今年は感染防止対策を実施の上、会場での開催決定となり、一般観覧者の募集も開始する運びとなりました。

審査員は、日本語が堪能な大使館関係者、後援をいただいている外務省、文部科学省、文化庁の担当者等の他、これまで国際社会の発展に貢献してきた団体・関係者が務めます。なお、優秀なスピーチをした方々を対象に、外務大臣賞・文部科学大臣賞・大使館親善交流協会理事長賞等が贈られます。

昨年、外務大臣賞を受賞したのは、アルメニア大使館、サルキス・シルカニャン氏でした。(※)

シルカニャン氏のスピーチテーマは、『私の発見の旅路：メロンパンから「遠慮の塊」へ』でした。シルカニャン氏は日本で過ごす中で、それまで日本は遠い異国の違う世界と思っていましたが、文化的にも遠くないことを理解する発見の旅路が開かれたとのことでした。

・初めてのメロンパン、アララト山

初めてメロンパンを食べた時、それがどこから来たものなのか、真に日本的なものなのか、突き止めたくなるほど気に入り、後に、メロンパンを最初に考案したのが、アルメニア人のパン職人のオバメスタンという人物であると知り、大変驚いたそうです。また、新幹線で東京に研修旅行に行った際に、突然窓から山が見え、現在はトルコ領内にあるものの、アルメニア人にとって神聖なアララト山の小さい峰を見ているかと思ったそうです。その山はもちろん富士山で、アララト山と富士山は見間違うほど本当によく似ているそうです。

・「遠慮の塊」

食事の際、最後の一切れが残ったとき、行儀よく誰も食べようとしなないことは、文字通り“遠慮の食べ物”の欠片”を意味するアルメニアの決まり文句「アモティティカ」でした。このアルメニアの決まり文句を日本人の先生方に披露しましたが、彼らは日本語にも似たような決まり文句「遠慮の塊」があると言い、これは日本起源だと納得された、と語られています。

そして、最も大切な発見となったのは、アルメニアと日本の関係を知れば知るほど、祖国の歴史や文化、さらにはその一部である自分自身を深く知ることであり、より多くのアルメニア人や日本人が、両国の絆を深め、独自の発見の旅をすることを願っています、とスピーチを締めくくっています。

アオバでは異文化交流、教育を通して多くの人材を輩出してきたノウハウを生かし、伝統ある本コンテスト運営を一昨年より継承いたしました。インターナショナルスクール生徒との交流など新たな試みも取り入れながら、本イベントの更なる発展をめざしてまいります。

コロナ禍により国境を越えた往来や交流が大きく制約を受ける昨今、本イベントを通じて世界各国の文化・価値観等に対する尊重、相互理解の重要性を再確認すると共に、相互交流の機会となれば幸いです。

(※)第24回各国大使館員日本語スピーチコンテスト(特定非営利活動法人大使館親善交流協会サイト)

<https://j-fefa.jp/>

【第 25 回各国大使館員日本語スピーチコンテスト 2022 開催概要】

日時:11月3日(木・祝)13:00-17:00

実施場所:港区立赤坂区民センター・区民ホール (定員 400 席)
〒107-0052 東京都港区赤坂 4-18-13

対象:国際交流等に関心のある方

参加費:無料(事前申込制)

申し込み:参加には事前登録が必要です。下記 URL よりお申し込みください。

<https://www.bbt757.com/svlEnquete/jsp/user/top?id=JSC2022>

申し込み期限:11月2日(水)23:29まで

定員:400 名(予定)

※但し、定員に達しない場合は当日受付にて、お名前・ご連絡先をいただけますと参加可能です。

主催:特定非営利活動法人 大使館親善交流協会
各国大使館員日本語スピーチコンテスト実行委員会

共催:アオバジャパン・インターナショナルスクール
(特別共催) 公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団(Kiss ポート財団)

後援:外務省、文化庁、東京都、NHK、港区、一般財団法人港区国際交流協会、独立行政法人国際交流基金

▼お問い合わせ

アオバジャパン・インターナショナルスクール/株式会社ビジネス・ブレイクスルー 広報担当

メールアドレス:bbt-pr@bbt757.com

BBTのプレスリリース:https://www.bbt757.com/news_release/